

2011年9月

大震災出版復興基金 創設記念シンポジウムの開催について

拝啓 時下ますますご隆昌のこととお喜び申し上げます。

さて、震災から早くも5ヶ月半が経過し、被災地では週末のボランティアの姿もめっきり少なくなり、自衛隊も撤退を決めました。これから被災地はどのように復旧・復興していくのでしょうか。作家の伊集院静氏は「R40 本屋さん大賞」小説、ノンフィクション・エッセイ部門のW受賞のインタビューで次のように語っています。「本は、人の生き方そのものを変えることはできなくても、悲しみを抱えた人のそばに寄り添うことはできる。」

われわれは、まさに、その「本」のようなシンポジウムができないかと考えました。多くの皆様のご参加をいただき、今、われわれに何ができるのかを一緒に考えてみたいと思います。

敬 具

記

[大震災出版復興基金]創設記念シンポジウム

日 時 9月30日(金) 15:00~17:00 終了後、交流会を開催します(17:30~)

場 所 日本出版クラブ会館[鳳凰の間](新宿区袋町6 TEL03-3267-6111)

次 第

日本出版クラブ会長 野間省伸挨拶

「神隠しされた街」朗読 日本ペンクラブ子どもの本委員会 野上 暁

黙 禱

被災地からの報告「東北・希望と再生を求めて」

講師：高成田 享(ジャーナリスト・前朝日新聞石巻支局長)

シンポジウム「被災者に寄り添う支援のありかた」

進行：菊池明郎(筑摩書房会長)

参加予定者：福純渡(福島原発避難者)、角野栄子(児童文学作家)、小林益久(陸前高田市復興支援センター・三重県松阪市副市長)、阿部博昭(被災書店関係・ヤマト屋書店社長)

「大震災出版対策本部常任委員会からの要請」 相賀昌宏(常任委員会委員長)

会 費：シンポジウム=無料、但し基金のカンパを募ります。

交流会=3000円

主 催：大震災出版対策本部・(社)日本雑誌協会、(社)日本書籍出版協会、(財)日本出版クラブ

参加：会場の都合上 FAX にて事前の参加登録が必要です。FAX 03-3267-6095

大震災出版復興基金創設記念シンポジウム・交流会

9月30日(金) 午後3時~

シンポジウム出席(名)

交流会出席 (名)

社名 _____ ご記入者名 _____ (所属)

連絡先 電話 _____ 又は e-mail _____